第６章　し尿処理事業

１．概　　説 ---------- ４１～４２
２．し尿・浄化槽汚泥処理計画 ---------- ４３
３．し尿・浄化槽汚泥排出量 ---------- ４４
４．浄化槽基数の推移 ---------- ４５
５．し尿処理施設別処理量 ---------- ４５
６．一般廃棄物処理業等合理化事業 ---------- ４６

第６章　し尿処理事業

1．概　　説

(1)　収集

①　し尿

収集主体	許可業者	市直営
業者数	１７社	―
収集区域	※児島地区を除く全市 責任体制の確立を図るため事業者ごとに収集区域を指定	児島地区
収集形態	計画収集（定期収集）を基本 ※　随時収集（電話依頼等）にも対応	
収集量の割合	８２％	１８％
処理手数料 （第９章 ３０参照）	倉敷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第１１条第１項第４号に定める額を超えない範囲で，業者の定める料金	・汲み取り量による従量制料金（条例） ・経済変動などを考慮し，必要に応じて改定（倉敷市廃棄物減量等推進審議会）
市補助金 （第９章 ３０参照）	市民負担の軽減を図るため，昭和４７年１０月から補助金制度を採用（業者へ交付）	
備考	・４連式領収書（会社控・市報告書・領収書・請求書）の採用	・各地区の自治組織，婦人会等へし尿処理手数料の集金業務を委託

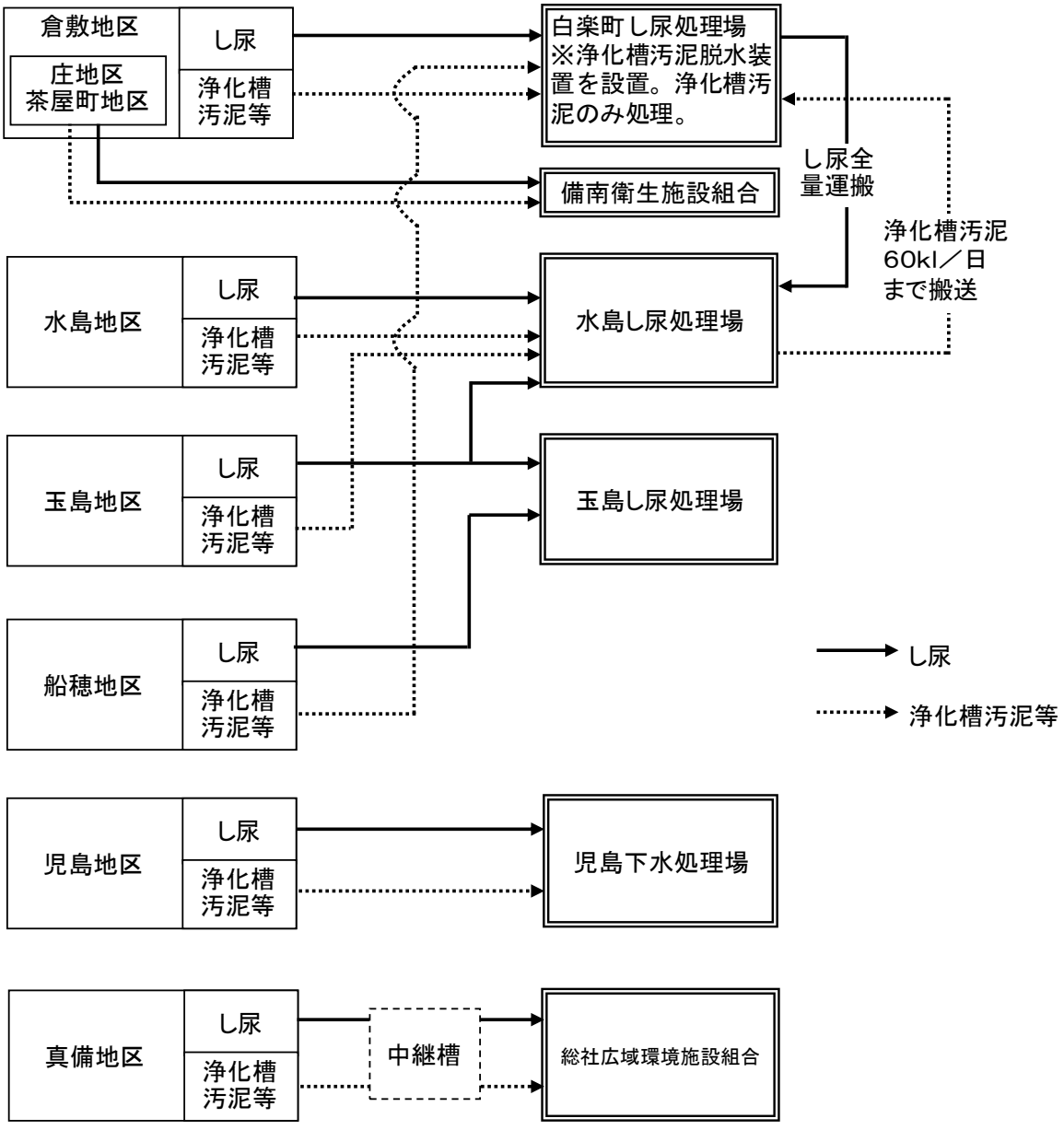
②　浄化槽汚泥

収集主体	許　可　業　者
業者数	１８社（し尿兼業１７社＋浄化槽専業１社）
収集区域	倉敷（庄・茶屋町除く）水島地区１２社／庄地区１社／茶屋町地区１社／玉島地区３社／児島地区１社／真備地区１社／船穂地区１社の収集区域指定
収集形態	計画収集（定期収集）を基本
処理手数料	業者の自主料金による

(2)　処理

本市のし尿処理は，し尿と浄化槽汚泥を混合して処理している。前処理段階まではリサイクル推進部が担当し，その後は下水道部（下水処理場へ投入）で対応している。なお，小型合併浄化槽の普及による浄化槽汚泥量の増加に対応した適正処理を行うため，平成８年１２月に白楽町し尿処理場に浄化槽汚泥の脱水設備を設置した。

平成２８年４月から下水道整備の進捗と施設の老朽化から，船穂長崎中継槽を廃止した。



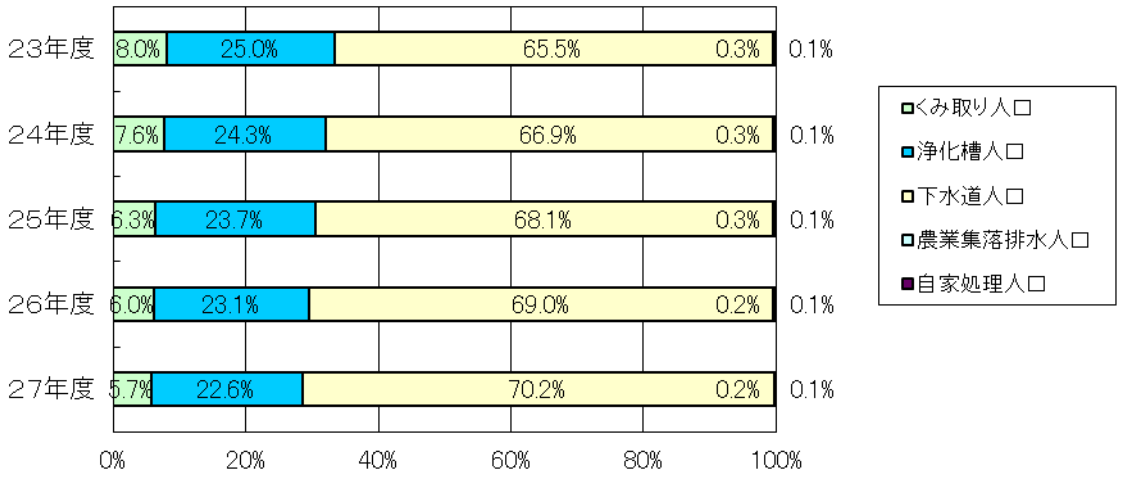
２．し尿・浄化槽汚泥処理計画

(1)　処理人口・世帯数

（平成28年3月31日現在）

区　分	人　口	世 帯 数
く み 取 り	27,558人	12, 958世帯
浄化槽(水洗)	109, 312人	31, 479世帯
下水道(水洗)	339, 559人	145, 336世帯
農業集落排水	1, 187人	428世帯
自 家 処 理	530人	171世帯

(2)　処理人口の推移



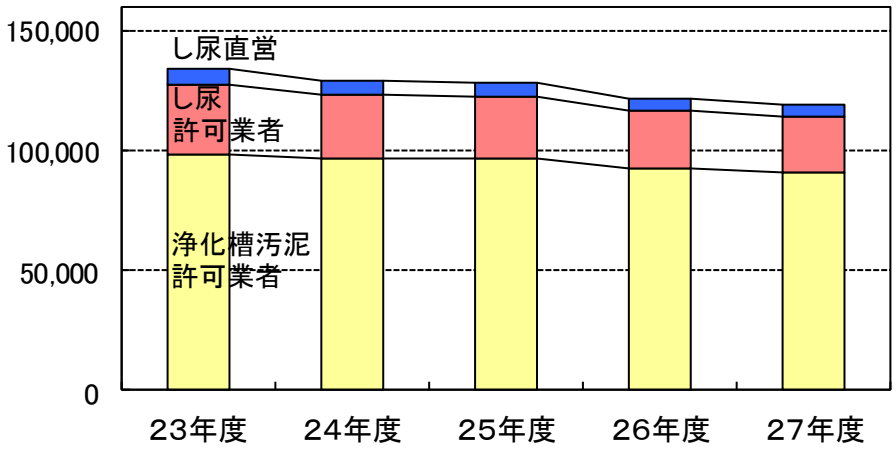
単位：人

	処理区域人口	くみ取り人口	浄化槽人口	下水道人口	農業集落排水人口	自家処理人口
23年度	481, 723	38, 395	120, 283	315, 398	1, 226	635
24年度	482, 456	36, 457	117, 231	322, 902	1, 237	606
25年度	483, 134	30, 651	114, 538	328, 896	1, 226	582
26年度	483, 537	28, 907	111, 779	333, 794	1, 200	559
27年度	483, 547	27, 558	109, 312	339, 559	1, 187	530

３．し尿・浄化槽汚泥排出量

(1)　年度別推移

（単位：ｋℓ）



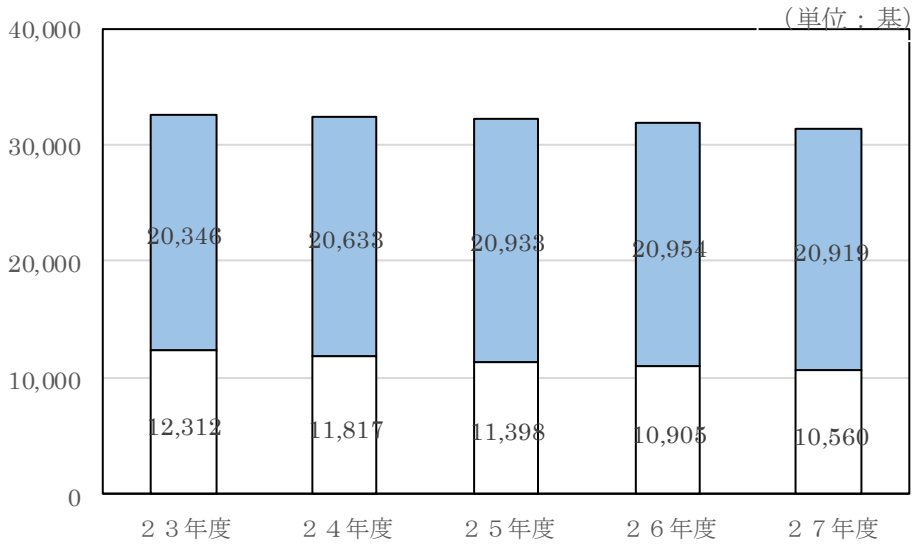
区　　分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
浄化槽汚泥		98, 139	96, 123	96, 413	92, 489	91, 017
し　　尿		35, 427	33, 055	31, 841	29, 074	27, 771
	許可業者	29, 246	27, 321	26, 168	23, 739	22, 882
	直営	6, 181	5, 734	5, 673	5, 335	4, 889
合　　計		133, 566	129, 178	128, 254	121, 563	118, 788

(2)　地区別，人口及び排出量（平成２７年度）

（単位：人〔収集量は ℓ〕）

		全市	倉敷	水島	児島	玉島	庄	茶屋町	船穂	真備
処理区域人口		483,547	196,827	89,251	71,054	64,386	15,328	16,351	7,425	22,925
し尿	人口	27,558	4,546	3,193	9,011	5,344	883	454	776	3,351
	量	27,771,024	5,387,400	4,211,100	4,889,144	6,645,200	1,710,420	542,600	823,230	3,561,930
浄化槽	人口	109,312	41,705	10,348	12,330	17,082	12,343	4,194	2,370	8,940
	量	91,017,320	29,265,400	17,726,200	9,548,700	12,628,100	7,455,220	2,629,940	1,881,600	9,882,160
下水道人口		339,559	146,109	73,925	53,306	39,441	2,248	11,382	3,522	9,626
農業集落排水		1,187	367	0	0	0	0	0	529	291
自家処理人口		530	86	25	113	195	59	14	38	0

４．浄化槽基数の推移



	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
単独処理浄化槽	12, 312	11, 817	11, 398	10, 905	10, 560
合併処理浄化槽	20, 346	20, 633	20, 933	20, 954	20, 919
合計	32, 658	32, 450	32, 331	31, 859	31, 479

５．し尿処理施設別処理量（平成２７年度）

（単位：ｋℓ）

		全市	倉敷	水島	児島	玉島	庄	茶屋町	船穂	真備
白楽町 し尿処理場	し尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浄化槽	46,307	29,265	15,160	0	0	0	0	1,882	0
	計	46,307	29,265	15,160	0	0	0	0	1,882	0
水　島 し尿処理場	し尿	10,236	5,388	4,211	0	637	0	0	0	0
	浄化槽	15,196	0	2,566	2	12,628	0	0	0	0
	計	25,432	5,388	6,777	2	13,265	0	0	0	0
児　島 下水処理場	し尿	4,889	0	0	4,889	0	0	0	0	0
	浄化槽	9,547	0	0	9,547	0	0	0	0	0
	計	14,436	0	0	14,436	0	0	0	0	0
玉　島 し尿処理場	し尿	6,831	0	0	0	6,008	0	0	823	0
	浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6,831	0	0	0	6,008	0	0	823	0
備南衛生 施設組合 （清鶴苑）	し尿	2,253	0	0	0	0	1,710	543	0	0
	浄化槽	10,085	0	0	0	0	7,455	2,630	0	0
	計	12,338	0	0	0	0	9,165	3,173	0	0
総社広域環境 施設組合 （ｱｸｱｾﾝﾀｰ吉備路）	し尿	3,562	0	0	0	0	0	0	0	3,562
	浄化槽	9,882	0	0	0	0	0	0	0	9,882
	計	13,444	0	0	0	0	0	0	0	13,444
合　計	し尿	27,771	5,388	4,211	4,889	6,645	1,710	543	823	3,562
	浄化槽	91,017	29,265	17,726	9,549	12,628	7,455	2,630	1,882	9,882
	計	118,788	34,653	21,937	14,438	19,273	9,165	3,173	2,705	13,444

６．一般廃棄物処理業等合理化事業

公共下水道等の整備により，し尿処理業者の業務量が減少していく中，し尿処理業者の経営の基礎となる諸条件に著しい影響を緩和し，併せて経営の近代化及び規模の適正化をはかるために一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（以下，「合特法」と言う。）が昭和５０年に制定された。

本市では，合特法の趣旨を鑑み，し尿処理業者の転廃業を円滑に進め，し尿の収集・運搬体制を適正規模に縮小するため，平成１１年度に旧市内のし尿処理業者と覚書を締結し，代替業務を提供することで支援することとし，家庭ごみの収集運搬業務を主とし，下水道管きょの清掃業務などをし尿処理業の代替業務として提供している。

平成２２年度に第１１次下水道整備五箇年計画（平成２３年度～平成２７年度）が策定されたことを受け，倉敷市一般廃棄物処理業等合理化事業計画の策定を目的に，平成２２年６月に倉敷市一般廃棄物処理業等合理化事業審議会条例を制定し，８月には同審議会を設置した。

同審議会において「倉敷市の合理化事業のあり方」と「これまでの合理化事業の清算」について審議され，５回の審議を経て，同審議会より答申が提出された。この答申を基に市内のし尿処理業者と協議を実施し，第１次倉敷市一般廃棄物処理業等合理化事業計画を策定し，平成２４年２月に岡山県知事から承認を受けた。

この計画により，規模の適正化（収集車両の計画的な減車）とし尿及び浄化槽汚泥収集量の減少に伴う代替業務の提供を行う合理化事業を実施することになった。